

全国保育実践交流会ニュース

2020 年 12 月発行 九州地区

1 2 月中旬頃から寒さが厳しくなり北の方からは大雪の情報も寄せられるようになりました。九州でも氷が張ったり、少しだけ雪が降ったりしています。

さて、九州地区では、今年度は県をまたいでの交流は控えることにし、近隣園同士の交流を行ってきましたので報告します。

<長崎地域交流>

長崎地域は遊びの家共同保育園（諫早市）、桜花保育園（島原市）、おひさま保育園（大村市）、女の都幼稚園（長崎市）の 4 園があります。今年はコロナ禍で九州全体での交流ができない状況ですが、長崎県内は感染状況がそれほどひどくなかったこともあり、また、各園が様々に対策を取り、保護者の理解を得、交流をしてほしいという願いも強くあり、県内での交流保育が実現しています。

9 月には 4 園が諫早青少年自然の家に集まり、1 泊 2 日でリズム交流や白木峰高原の自然の中で遊びました。10 月には日帰りで遊びの家の近くで山登り交流をし、頂上で全員カレーを食べました。11 月にも 1 日リズム交流を行いました。

12 月には 2 回目の 1 泊 2 日の合宿を行い、福岡から 2 名の園長が参加し、土台～基本のリズム、かもしか、ちょうなどをしました。また、絵本『スーホの白い馬』を読み聞かせ、記録映画『白い馬』を観、モンゴル出身のドランさんご夫婦の馬頭琴の演奏を聞き、モンゴルの世界に浸りました。

女の都幼稚園は初めて全員の子どもを連れての交流が実現し、交流での子どもたちの成長に職員みんな感動しています。



<熊本地域交流>

9 月 11 日と 10 月 2 日の 2 回、川岳保育園 6 人、二の丸保育園 3 人の 9 人で交流することができました。1 回目は縄跳びの布選び。初めての交流だったので、楽しみにしてはいたものの緊張した様子の子どもたちでしたが、一緒にリズムをし、2 人組で布を裂き、色を選び終わった頃には少し川岳の子たちと打ち解け始めていました。2 回目になると、お互いの名前を覚え、声を掛け合いながら遊ぶ姿が見られるようになっていました。広い体育館で、出来上がった縄を使って何度も縄跳びに挑戦。また、リズムも園ごとではなく 2 園混合で 3 グループに分かれてしています。“次はどんなリズムだろう”と真剣な表情で進行している大人の話を聞いていました。

2 園での交流でしたが、交流前は 3 人で協力する姿があまり見られず、“自分だけができればいい”ということが多かったのが、2 回の交流が 3 人にとって良い刺激になったようで、交流後は 3 人で助け合う姿が増え、色んな活動に積極的になってきています。

11 月、12 月にも交流を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大のため、交流できていません。

<福岡・北九州交流（こぼと・あゆみの森）>

これまでにない不安の中で迎えた新年度。特に年長児にとっては、楽しみにしていた交流保育ができない中、半年が過ぎていきました。感染者の多い福岡市からは、市外へ子どもたちを連れて出かけるのは難しいかなと思っていたところ、あゆみの森の園長が「行ってもいいよ」と言ってくれ、急きょ運動会前の 9 月 2 8 日にこぼとの目の前の桧原運動公園でのリズム交流が実現しました。子どもたちはリズムだけでなく、跳び箱、鉄棒、竹のぼり、リレーなどの運動会ごっこを楽しみ、自園の運動会を迎えることができました。

この日をきっかけに、他園の交流の様子も参考にしながら、どんな交流だったら実現できるかを 2 園で話してきました。

その後、10 月 27 日には北九州の平尾台で合流し、一緒に貫山山頂を目指しました。例年の久住登山とは一味違いましたが、お天気にも恵まれカルスト台地特有の岩場をかいぐり素晴らしい景色を味わうことができました。貫山頂上では大縄や馬跳びでも交流し、お互いの顔と名前を少し覚えた時間になりました。

12 月 4 日は広い公園で右に左にと縄跳びで身体を動かし、その後こぼとのホールでのリズム交流を行いました。かもしか、蝶など新しいリズム、跳び箱などで刺激を受けあい、映画「森は生きている」も一緒に見ることができました。3 回の交流を通じて子どもも担任同士も関りが深くなってきています。感染状況に注意しながら、園長会での情報交流を参考に卒園に向かう時期の活動をどう充実させられるか考え実践していこうと思います。



<久留米・大牟田地域の交流>

久留米・大牟田地域は、つばみ幼稚園・保育園、安武保育園、ひいらぎ保育園（久留米市）、高取保育園（大牟田市）の 4 園です。

8 月のなわとび交流からスタートしましたが、まずは安武保育園と高取保育園の 2 園のみの開催となりました。9 月は、安武保育園、高取保育園にひいらぎ保育園が加わり 3 園で一日交流することができました。10 月には、毎年九州地区全園で久住山（大分県）に登っていましたが、今年はそれも出来ないため一度も登ったことのない大平山（朝倉市）に登ることにしました。4 園一緒に登らず一日目、ひいらぎ保育園と高取保育園、二日目、安武保育園とつばみ幼稚園・保育園に分かれて登りました。11 月には初めて 4 園揃って一日交流をすることができました。78 人という集団になりましたが、いろんな仲間と顔見知りとなり、みんなでリズムができて子どもたちは喜んでいました。この時は、福岡のこぼと保育園から園長と担任、あゆみの森からは園長が参加してくださり、とても心強かったです。12 月は、初めて二日間にわたって交流をしました。夜は各園にそれぞれ泊まり次の日を迎えました。「森は生きている」の映画を見るはずでしたが、機械の故障で急遽読み聴かせになりましたが、子どもたちはよく聴いていました。やはり一日目より二日目の方がリズムもお話も集中していました。たっぷり動いて、しっかり食べて、ぐっすり眠ることがいかに大事か改めて確信にすることができました。毎回三瀧総合体育館を使い、基本のリズムを丁寧に取り組み、年長リズムでは広い体育館でスピード感あふれるリズムを楽しんでいます。

来年はよい年に
なりますように！

